

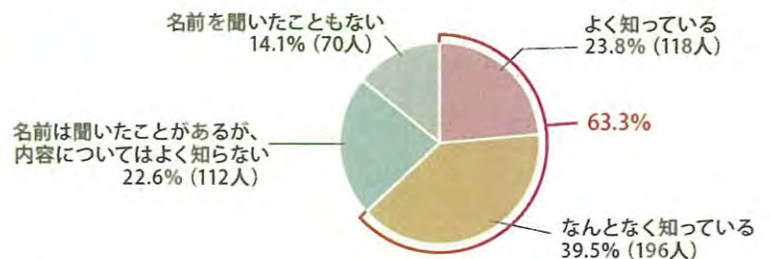
宮城県在住のモニター、サンプル数（496 人）

（詳細別途参照）

アンケート結果④ 《めぐみ野について》

質問 9

あなたは、みやぎ生協の顔とくらしの見える産直「めぐみ野」についてご存じですか？



■顔とくらし見える産直「めぐみ野」を知っている割合 63.3%（昨年 52.8%）

アンケート結果⑤ 《めぐみ野について》

質問 12

あなたのご家庭では、顔とくらしの見える産直「めぐみ野」をどの程度購入していますか？



■顔とくらし見える産直「めぐみ野」を利用している割合 50.4%（昨年 43.1%）

V. 事業の総括

（1）事業目標の達成度

事業目標に対して達成できました。事業の内容の事項についてはほぼ達成することができました。産地見学・工場見学では、生産者の苦労や生産のこだわり、農畜水産業の現状について理解を深めることができました。応援していきたいという人を増やすことができました。

本事業の成果を今後の食育活動に活かしていきたいと考えています。

（2）事業から得られた成果

- ① 消費者ニーズ対応型食育活動モデル事業を通して、組合員の日本型食生活の大切さ食生活改善と健康づくり、よりよい食の環境づくりのために、安全・安心な食品をバランスよく、そして楽しく食べる運動を進めることができました。
- ② 産地見学や産地体験で生産者との交流を通して生産の苦労や食べ物の大切さ、地域文化の伝承、地域の食材、自然との共生等の理解を深めるこ

とができました。

- ③水産関係の産地見学、生産者による料理教室と交流の機会を増やし、漁業への理解が深まりました。「めぐみ野」水産品の利用は前年比28%増になりました。
- ② 顔とくらしの見える産直「めぐみ野」への認知度は63.3%と昨年よりも高くなりましたが、「めぐみ野」商品を定期的に利用されている方は50.4%に留まっていますので、引き続き組合員への「めぐみ野」の理解を拡げるために、情報提供、産地見学・学習会を継続する必要があります。

(3) 今後の課題

今回の事業において取り組んでいることや組合員の「めぐみ野」(産直)の認知度・購入頻度の調査から引き続き情報提供や食育活動を継続していくと必要です。産地見学や体験会・料理教室に参加できる方は一部であり、もっと多くのメンバー(組合員)に産地見学・学習会・食に関わる企画に参加できるよう継続していきます。また、多くの組合員に見て触れる広報誌(ラクミー)やホームページ、メンバーのつどいの紙面を活用して、「めぐみ野」(産直)と日本型食生活の大切さお知らせしていきます。

○調査概要

1. 調査の目的

2. 調査設計

(1) 調査方法

(2) 調査対象者：第1回食のかたりべ養成講座の参加者（地域代表理事、エリアリーダー、食のかたりべ）

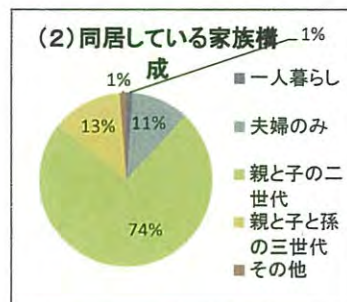
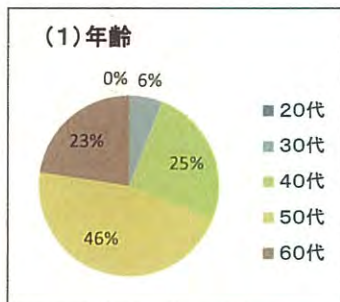
(3) 回収数：87枚

(4) 調査日：

3. 調査対象者の基本データ

(1) 年齢

20代	0
30代	5
40代	21
50代	39
60代	19



(2) 同居している家族構成

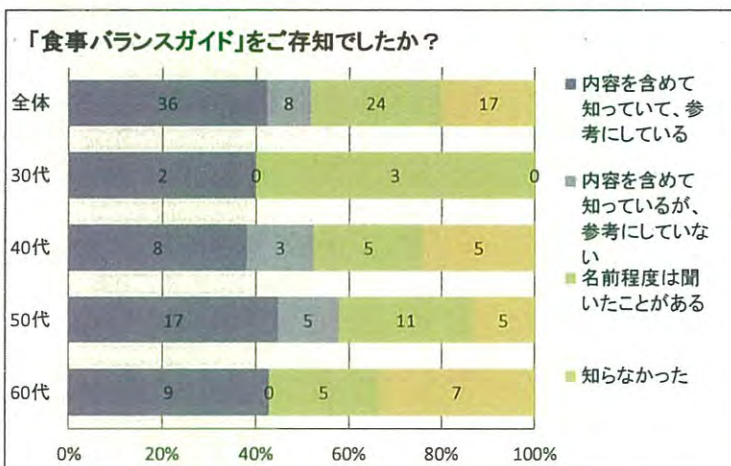
一人暮らし	1
夫婦のみ	9
親と子の二世帯	62
親と子と孫の三世帯	11
その他	1

○調査結果の詳細

1. 「食事バランスガイド」について

(1) 「食事バランスガイド」の認知度と参考度（問1、問2-1）

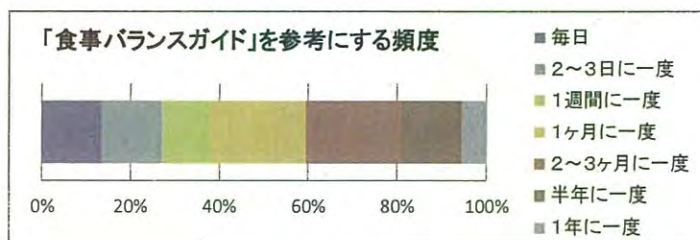
	全体	30代	40代	50代	60代
①内容を含めて知っていて、参考になっている	36	2	8	17	9
②内容を含めて知っているが、参考にしていない	8	0	3	5	0
③名前程度は聞いたことがある	24	3	5	11	5
④知らなかった	17	0	5	5	7



全体で見ると、「内容を含めて知っている」は約半数。60代では約3割が「知らなかった」と回答している。

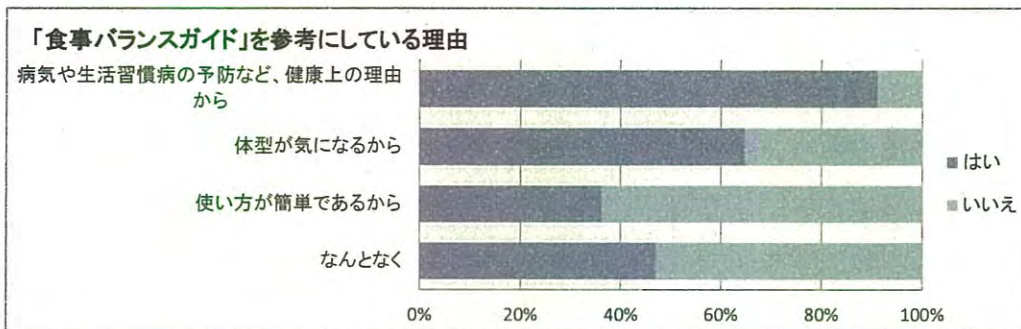
(2) 「食事バランスガイド」の参考頻度（問2-2）＜1(1)で①と答えた人のみ＞

毎日	5
2～3日に一度	5
1週間に一度	4
1ヶ月に一度	8
2～3ヶ月に一度	8
半年に一度	5
1年に一度	2



(3)「食事バランスガイド」を参考にする理由(問3-1)＜1(1)で①と答えた人のみ＞

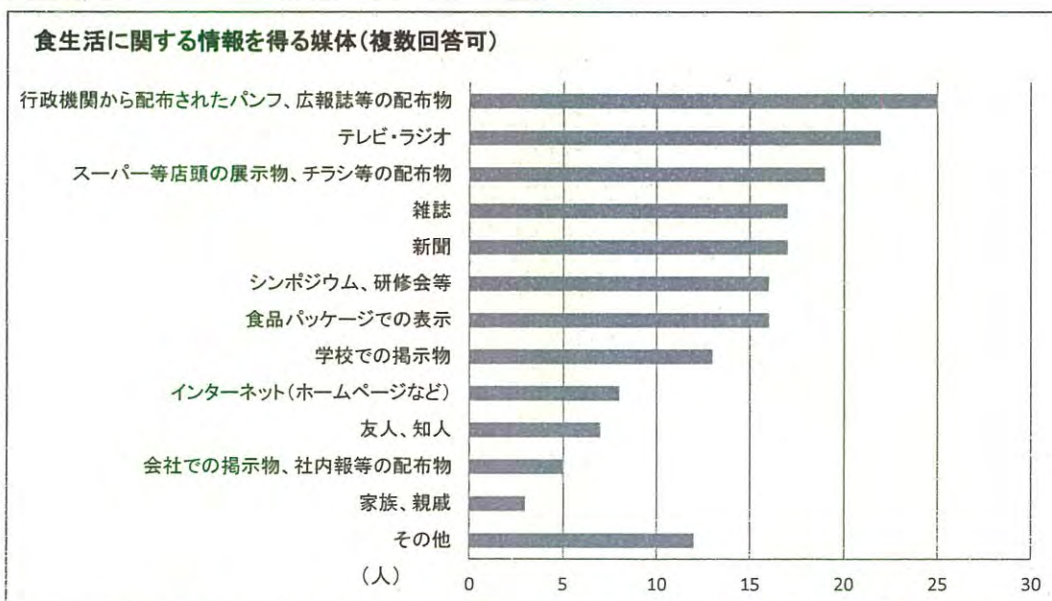
	はい	いいえ
病気や生活習慣病の予防など、健康上の理由から	31	3
体型が気になるから	22	12
使い方が簡単であるから	12	21
なんとなく	16	18
その他	1	33



参考頻度は人それぞれだが、「病気や生活習慣病の予防など、健康上の理由から」参考にしている人が約9割と最も高かった。

(4)「食事バランスガイド」等の食生活に関する情報の認知経路(問4)＜1(1)で①②③と答えた人のみ＞

行政機関から配布されたパンフ、広報誌等の配布物	25
テレビ・ラジオ	22
スーパー等店頭の展示物、チラシ等の配布物	19
新聞	17
雑誌	17
食品パッケージでの表示	16
シンポジウム、研修会等	16
学校での掲示物	13
インターネット(ホームページなど)	8
友人、知人	7
会社での掲示物、社内報等の配布物	5
家族、親戚	3
その他	12

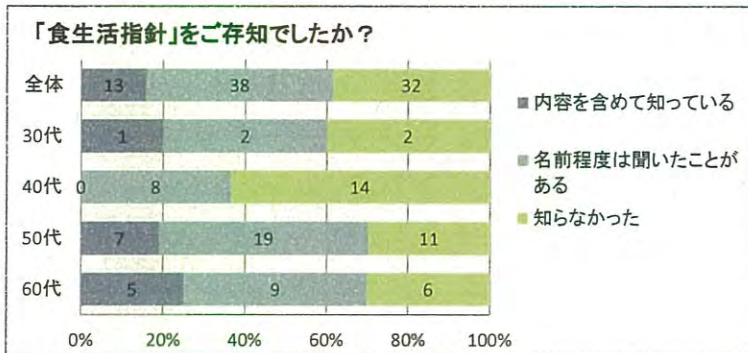


「食事バランスガイド」を「認知している」人の情報源は、「行政機関から配布されたパンフ、広報誌等の配布物」が最も高かった。「その他」では「生協のこ～ぷ委員会」という回答があった。

2. 「食生活指針について」

(1) 「食生活指針」の認知度(問5)

	全体	30代	40代	50代	60代
内容を含めて知っている	13	1	0	7	5
名前程度は聞いたことがある	38	2	8	19	9
知らなかった	32	2	13	11	6

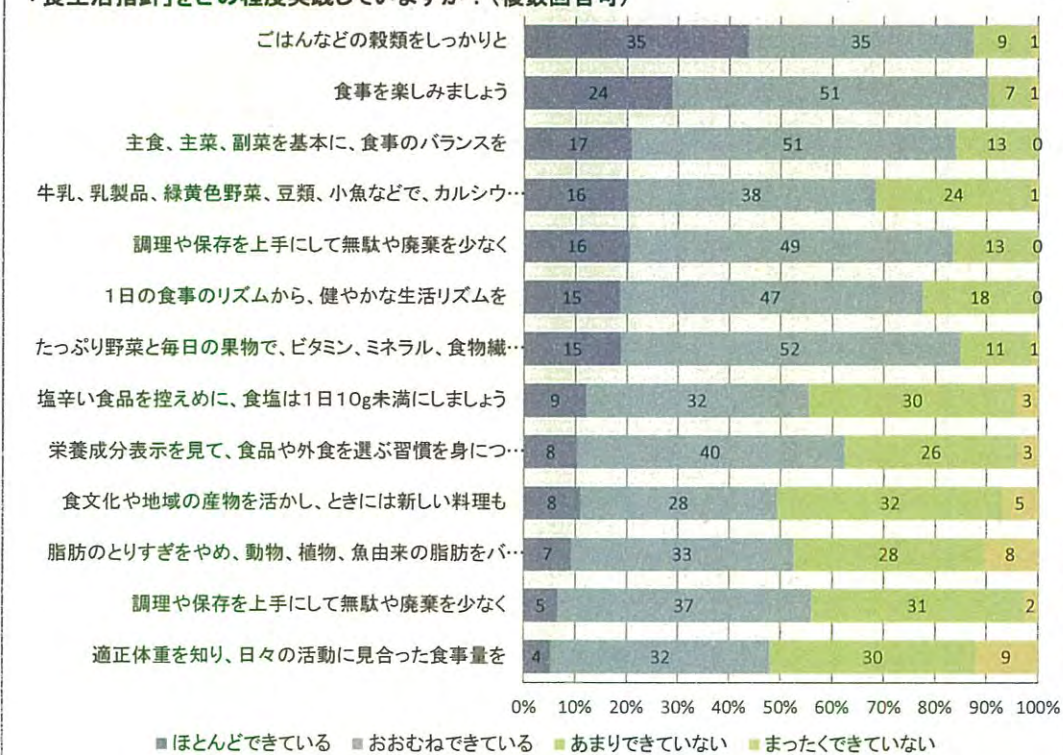


「内容を含めて知っている」「名前程度は聞いたことがある」を合わせた、「食生活指針」を「認知している」人は6割程度。

(2) 「食生活指針」の実践度(問6)

	ほとんどできている	おおむねできている	あまりできていない	まったくできていない
ごはんなどの穀類をしっかり	35	35	9	1
食事を楽しもう	24	51	7	1
主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを	17	51	13	0
牛乳、乳製品、緑黄色野菜、豆類、小魚などで、カルシウムを十分にとりま	16	49	13	0
調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なく	16	38	24	1
1日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを	15	52	11	1
たっぷり野菜と毎日の果物で、ビタミン、ミネラル、食物繊維をとりま	15	47	18	0
塩辛い食品を控えめに、食塩は1日10g未満にしましょう	9	32	30	3
栄養成分表示を見て、食品や外食を選ぶ習慣を身につけま	8	28	32	5
食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も	8	40	26	3
脂肪のとりすぎをやめ、動物、植物、魚由来の脂肪をバランスよくとりま	7	33	28	8
調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なく	5	37	31	2
適正体重を知り、日々の活動に見合った食事量を	4	32	30	9

「食生活指針」をどの程度実践していますか？(複数回答可)

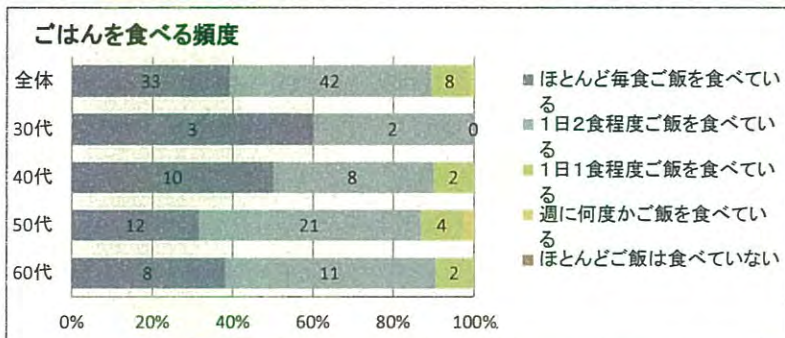


《できている》の回答が最も多いのは、「ごはんなど穀物をしっかりと」。「脂肪」や「適正量」、食文化に関する項目は《できている》の回答が少なかった。

3. 普段の食事について

(1) ご飯を食べる頻度(問7-1)

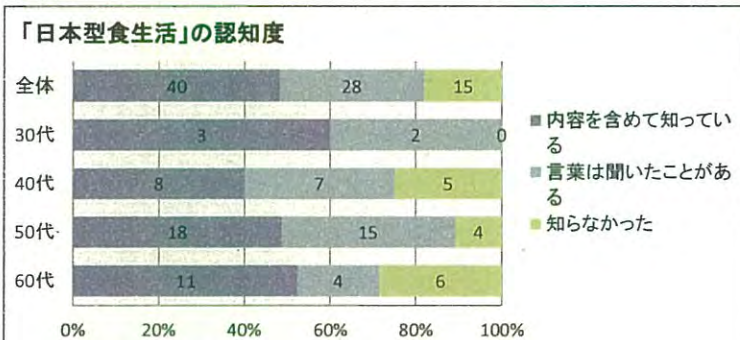
	全体	30代	40代	50代	60代
ほとんど毎食ご飯を食べている	33	3	10	12	8
1日2食程度ご飯を食べている	42	2	8	21	11
1日1食程度ご飯を食べている	8	0	2	4	2
週に何度かご飯を食べている	1	0	0	1	0
ほとんどご飯は食べていない	0	0	0	0	0



「ほとんど毎食」「1日2食以上」「1日1食程度」を合わせた「1日1食以上ご飯を食べている」はほぼ100%

(2) 「日本型食生活」の認知度(問7-2)

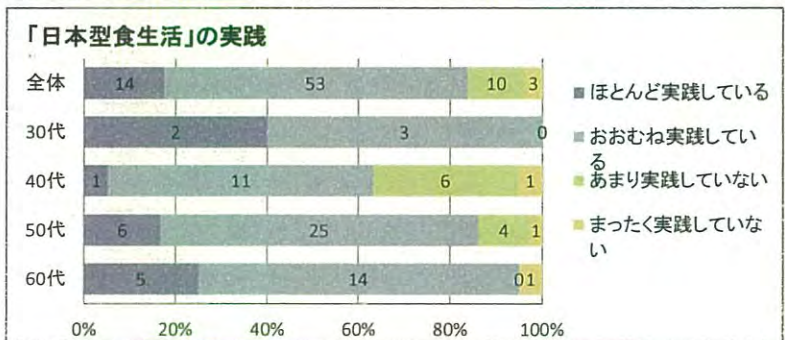
	全体	30代	40代	50代	60代
内容を含めて知っている	40	3	8	18	11
言葉は聞いたことがある	28	2	7	15	4
知らなかった	15	0	5	4	6



「内容を含めて知っている」「言葉は聞いたことがある」を合わせた「認知している」は8割を超えるが、「内容を含めて知っている」は半数程度

(3) 「日本型食生活」の実践度(問7-3-1)

	全体	30代	40代	50代	60代
①ほとんど実践している	14	2	1	6	5
②おおむね実践している	53	3	11	25	14
③あまり実践していない	10	0	6	4	0
④まったく実践していない	3	0	1	1	1



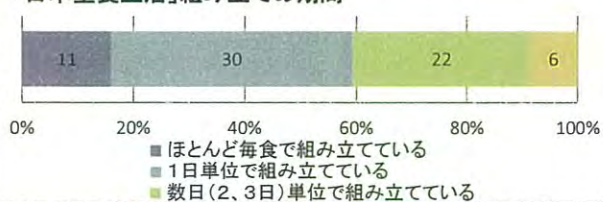
「日本型食生活」を「認知している」「認知していない」に関わらず、ご飯を中心にしたバランスの良い食生活を「実践している」人は8割程度。

(4) 「日本型食生活」の組み立て期間(問7-3-2) <3(3)で①②と答えた人のみ>

ほとんど毎食で組み立てている	11
1日単位で組み立てている	30
数日単位で組み立てている	22
1週間単位で組み立てている	6

「日本型食生活」を「実践している」人の日本型食生活の組み立て期間は、「1

「日本型食生活」組み立ての期間



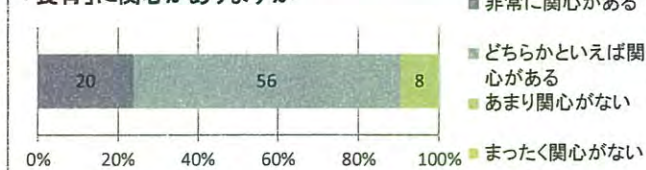
4. 食育について

(1) 食育への関心度(問8)

非常に興味がある	20
どちらかといえば興味がある	56
あまり興味がない	8
まったく興味がない	0

食育に「興味がある」の割合は約9割と高い。

「食育」に関心がありますか

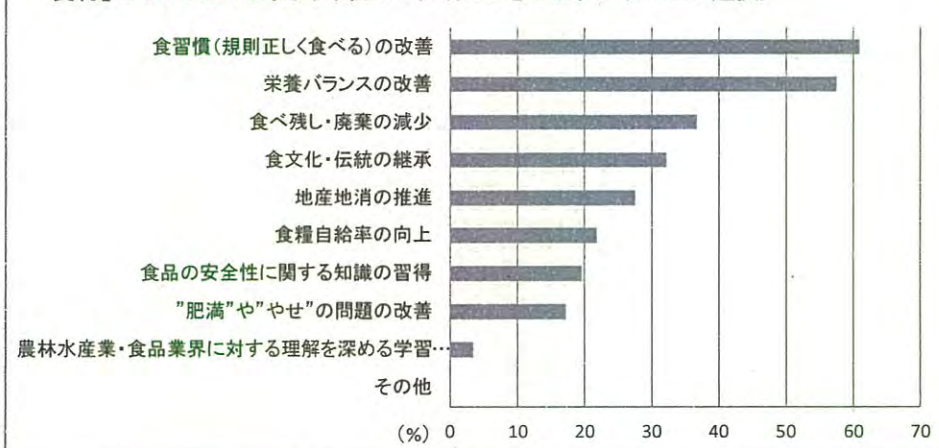


(2) 食育に大切な取り組み(問9)

食習慣(規則正しく食べる)の改善	53
栄養バランスの改善	50
食べ残し・廃棄の減少	32
食文化・伝統の継承	28
地産地消の推進	24
食糧自給率の向上	19
食品の安全性に関する知識の習得	17
「肥満」や「やせ」の問題の改善	15
農林水産業・食品業界に対する理解を深める学習など	3
その他	0

食育のために大切な取り組みとしては、「食習慣の改善」(60.9%)、「栄養バランスの改善」(57.4%)が高くなっている。

「食育」についてどのような取り組みが大切だと思いますか(3つまで選択)



(3) 参加したい食育に関するイベント(問10)

料理教室・料理講習会	62
食品製造・流通施設の見学	36
食生活の改善に関する講演会・シンポジウム・活動発表会等	27
食の安全に関する講演会・シンポジウム・活動発表会等	25
健康・栄養相談会	21
農林漁業体験	13
農林漁業体験に関する講演会・シンポジウム・活動発表会等	6
その他	0

食育に関する催しで参加したいものは、「料理教室・料理講習会」(71.3%)が圧倒的に高くなっている。

「食育」に関する催しで参加したいと思うものは(複数回答可)

